

令和4年度 第3回 東海村子ども・子育て会議 議事録

会議名等	令和4年度 第3回 東海村子ども・子育て会議
日時	令和4年10月24日(月) 10:00~10:40
場所	東海村役場5階 原子力研修視察室
出席委員	神永直美(会長), 佐藤彰, 大森奈穂美, 高橋登志子, 鈴木淳子, 鹿志村茂, 千葉香, 鈴木香代, 近藤壽子, 中川輝夫(順不同・敬称略) 15名中10名出席
事務局	白石課長, 高橋課長補佐, 早坂課長補佐, 志村課長補佐, 宮河係長, 飯塚係長, 吉沼主事(記録者)
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 第二期東海村子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて 4 その他 5 閉会
資料	【事前配布資料】 ・第二期東海村子ども・子育て支援事業計画(中間改訂案) ・【資料1】令和5・6年度の「量の見込み」の推計について ・【資料2】第二期東海村子ども・子育て支援事業計画に係る中間年の見直しスケジュール
議事内容等	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>今回は第二期東海村子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて, パブリックコメント前の最後の審議になる。忌憚のないご意見をお願いしたい。</p> <p>3 議事(会長による議事進行) ※事務局が【中間改訂案】及び【資料1・2】により説明。 (1) 第二期東海村子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p>■審議内容</p> <p>(1) 第二期東海村子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>【委員】</p> <p>東海村には宅地造成(東海中央土地区画整理地内, フローレスタ須和間周辺など)されている場所もある。子どもの数も多少増えるのではないかと。</p> <p>【事務局】</p> <p>中丸小学校区の区域内について住宅が増えているのは事実である。令和5・6年度に第三期東海村子</p>	

ども・子育て支援事業計画の策定作業を行う際は、今後の児童数がどのように変化するかを含めて丁寧に見ていきたいと考えている。

【委員】

第二期東海村子ども・子育て支援事業計画の策定時点では0～2歳児に待機児童が発生していたが、現在は新たな施設（現「東海村立けやきの杜保育所」）の建設を含め保育施設が充足してきており、待機児童は解消されている。また、東海村では中央土地区画整理事業の進捗などに伴い住宅は増えているが、全国的な傾向としては子どもの数が年々減少傾向にあり、単純に子どもの数が増えるという楽観的な見方はできない。一方で、入所保留者は無くして行かなければならないので、第三期計画を策定する際は、子どもの数と保育ニーズの受け皿に関して重点的に考えていく必要がある。

第二期計画の中間見直し案については、これまでの会議の結果が反映されており、異存はない。

【委員】

現在は子どもたちの状況が多様化している。私たちが考えている以上に、多くの課題を抱えている子どももいるが、職員配置の定数は以前から見直されていない。加配職員などの配置は各自自治体に任されている。配置基準上の職員数を充足するだけでなく、職員の加配を含め必要な職員数を確保した上で丁寧な保育に取り組んでいただきたい。

【委員】

最近はやりにくさを感じている親も多く、家庭の支援も重要になってきている。家庭への支援においては関係機関との連携が重要であることから、村は関係機関と連携しながら（子育て家庭への）支援に取り組んでいただきたい。

【会長】

保育の量の問題が解決されれば、次は質の問題になる。第三期計画の中で検討していただきたい。

【委員】

5年間を計画期間として子ども・子育て支援事業計画を策定しているが、情勢は日々変化している。現在で言えば物価高騰対策として臨時特例交付金といった国の施策がある。東海村では学校給食に国交付金を充てているが、民間保育園に対しての補助金はない。実際に村内でどこに課題があり、どのような支援が必要なのかを把握して施策を立案していく仕組みが必要である。国補正予算が成立する時期でもあり、今後同様の話が出てくる可能性があるため、それを見越して対応してほしい。

【事務局】

国は物価高騰対策として、子育てに関する支援施策を数多く打ち出している。今後も物価上昇は続くことが予想される。国の動向を注視しつつ、村内の課題を把握し対応していきたい。

以上